

平成26年度技術士第二次試験問題〔水産部門〕

14-3 水産土木【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1，Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち2設問を選び解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 漁港の航路・泊地における静穏度対策の基本的考え方と留意すべき点について述べよ。

Ⅱ-1-2 漁港施設における地震・津波対策に関して、東日本大震災の被害状況を踏まえて見直しされた点を列挙し、その内容について述べよ。

Ⅱ-1-3 漁場の底質改善のための工法とその特徴を述べよ。

Ⅱ-1-4 水産基盤施設のストックマネジメントの目的と考え方、技術上の課題点を述べよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙２枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 水産資源等の悪化や漁業者の高齢化などにより疲弊の進んでいる漁村において，浜の活性化を図るため都市漁村交流をすることとなった。あなたが担当責任者として，この業務の計画を策定するに当たり，下記の内容について記述せよ。

- (1) 業務に当たって調査・検討すべき事項
- (2) 業務を進める手順
- (3) 業務を進める際に留意すべき事項

Ⅱ－２－２ これまで漁場整備は地先海域において単一の地方公共団体が行う「点の整備」にとどまっていたが，最近では，資源管理等との連携を図りつつ，「水産生物の生活史に配慮した漁場整備」が重要となってきた。あなたが担当責任者として，水産生物の生活史に配慮した漁場整備の計画を作成するに当たり，下記の内容について記述せよ。

- (1) 業務に当たって調査・検討すべき事項
- (2) 業務を進める手順
- (3) 業務を進める際に留意すべき事項

14-3 水産土木【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1，Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し，答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅲ-1 第3次漁港漁場整備長期計画（計画期間：平成24～28年度）では，重点的に取り組むべき課題の1つとして「水産物の安定的な提供・国際化に対応できる力強い水産業づくりの推進」を掲げ，水産物の流通拠点漁港における衛生管理対策に取り組むこととしている。このような状況を踏まえ，以下の問いに答えよ。

- (1) 漁港における衛生管理対策に重点的に取り組むに当たり，検討すべき項目を多様な視点から挙げ，その内容について述べよ。
- (2) 上述した検討すべき項目から，あなたが最も解決すべきと考える技術的課題を1つ挙げ，現時点の技術水準と解決するための技術的提案を示せ。
- (3) あなたの技術的提案がもたらす効果を具体的に示すとともに，その効果を十分発揮される具体化方策について述べよ。

Ⅲ-2 近年，漁業者の高齢化，漁村人口の減少等により，これまでその益を広く国民に与えてきた水産業や漁村が持つ多面的機能が十分にその機能を発揮できなくなっている。このような状況を踏まえ，漁業者等が行う藻場・干潟などの保全活動について，以下の問いに答えよ。

- (1) 藻場・干潟などを維持・保全するに当たり，検討すべき項目を多様な視点から挙げ，その内容について述べよ。
- (2) 上述した検討すべき項目から，あなたが最も解決すべきと考える技術的課題を1つ挙げ，現時点の技術水準と解決するための技術的提案を示せ。
- (3) あなたの技術的提案がもたらす効果を具体的に示すとともに，その対策を実施した場合の問題点について述べよ。